



NEWS ANNOUNCEMENT

FOR IMMEDIATE RELEASE

*2012年2月13日に発表されたプレスリリースの抄訳です

経済産業省がタワージャズの設備投資計画を 補助金交付事業として採択

2012年2月13日(西脇 日本)ー世界的スペシャルティファンドリのリーダーであるタワージャズは本日、同社の日本法人であるタワージャズジャパン株式会社が経済産業省の国内立地推進事業費補助金の交付先として採択されたことを発表しました。この補助金制度は、国内の生産拠点に対して、日本の企業立地環境の改善を図り、国内の新たな投資を促進、雇用を維持・創出することを目的としています。補助金総額は約2023億円で294事業が採択されました。

経済産業省から採択された補助金額はパワー製品やその他製品の製造、それに関連する設備投資に対して最大3分の1となっています。すでに公表している通り、タワージャズは、西脇工場で顧客向けに、パワー製品やその他の製品を含む当社のスペシャルティプロセスの立ち上げと認証を受けるために、今後2年にわたり数千万ドルの投資を計画しています。

今回採択されたことによりタワージャズジャパンはIDM(垂直統合型半導体メーカー)のDRAM製造工場からアナログスペシャルティファンドリ工場への移行を加速させ、日本の顧客との連携の機会を拡張させることが可能になります。また、この補助金でスペシャルティ技術の立ち上げを後押しし、今後の事業展開に向けて設備とインフラを整備していきます。

2011年6月にマイクロン社から西脇工場を取得して以来、タワージャズは日本のIDM数社と順調にビジネスを進めるとともに、顧客開拓を継続しながら新規ビジネス獲得へと弾みをつけています。また、タワージャズは日本市場に世界クラスのデザインイネーブルメント技術も発表しています。

タワージャズの最高経営責任者、Russell Ellwanger は次のように述べています。「我々の事業が採択されたことは、日本政府が日本の事業開発を支援するにあたり当社のファンドリ製品に高い価値があることを認めて頂いたということです。タワージャズジャパンに我々の先端の専門能力を導入し、日本の顧客

と密接に連携することで短期的にも長期的にも顧客ニーズに対応するために日本市場に貢献していきたいと思います。」

また、タワージャズジャパン(株)の代表取締役社長、勝本健一は次のように述べています。「地域密着のファンドリ専門企業としての能力を発展させることは日本の半導体業界にとって極めて重要なことです。その重要な役割を当社が担っていることを日本政府に認めて頂き、日本初の大型専門ファンドリとなる当社を採択して頂いたことを大変うれしく思います。」

タワージャズについて

タワーセミコンダクター株式会社 (NASDAQ: TSEM, TASE: TSEM)は、米国にある完全子会社のジャズセミコンダクター社、日本の完全子会社タワージャズジャパン(株)と共に、タワージャズというブランド名で事業運営をしている世界的スペシャルティファンドリのリーダーです。タワージャズは 0.13 から 1.0 ミクロンのプロセスノードで集積回路を生産しており、SiGe、BiCMOS、ミックスドシグナル、RFCMOS、CMOS イメージセンサ、パワーマネジメント (BCD)、不揮発性メモリ (NVM)、CMOS, MEMS など、幅広いカスタマイズが可能なプロセス技術を提供しています。また洗練された技術で迅速かつ正確なデザインサイクルを実現する世界クラスのデザインイネーブルメントプラットフォームも提供しています。さらに、IDM やキャパシティ拡大の必要性があるファブレス企業、R&D から生産を進める企業向けの Technology Optimization Process Service (TOPS)も提供しています複数のファブを使ってサービスを提供するために、タワージャズは、イスラエルに2か所、米国と日本に各1か所の生産拠点をもち、中国にも生産パートナーシップを締結した施設を有しています。詳細は www.towerjazz.com をご覧ください。

お問い合わせ

タワージャズジャパン株式会社

才宮 章子

(0795)23-6609

saimiya@towerjazz.com

TowerJazz Investor Relations Contact

Noit Levi

+972 4 604 7066

noit.levi@towerjazz.com